

10歳の質問箱！

1. 対象 小学校4年生以上

2. ねらい

- ・自分の悩みは、自分だけの悩みではないことを知り、悩みを共有する。
- ・悩んでいることも、誰かに話すことで気持ちが楽になることを知る。
- ・誰かの悩みに対して、自分なりの考えを表現する。

3. 流れ

(1) アニメーターは、最近の自分の小さな悩みを伝える。

「みなさんは、悩んだときに、どうしていますか？」と聞く。

(ひとりで考える、親に相談する、友達に相談する、犬に相談する、祖父母に相談する)

(2) アニメーターは「10歳の質問箱 (小学館)」から1枚カードを引き、紹介する。

『お母さんはスマホばかりして、わたしの話を聞いてくれません。』

『どうしたらやめてもらえるでしょう。』

「同じ悩みをもったことがある人？」と聞く。(ある人、ない人)

アニメーターは、数人の参加者にその相談にどう答えるか聞く。

(3) アニメーターは、グループ(2～5人)に相談カードを渡し「同じ流れでやろう」と伝える。

1. グループ内の順番を決める。
2. 1番の人がカードを引いて司会をする。
3. 司会の人にはカードを読み上げる。

そして「自分も同じ悩みをもったことがある人？」と聞く。

参加者はどちらかに手をあげる。

次に、1分間の砂時計をひっくり返す。

4. 全員1分間、その相談にどうアドバイスするか黙って考える。
5. 司会の人が順番に指名して、答えてもらっていく。

B「耳元でささやく！ 耳元で言われると気持ち悪いし、ふーっとしたらさすがに…」

C「お父さんに言う！ お父さ～ん、お母さんがスマホ中毒だよ～こわいよ…」

D「他のスマホで録画して見せる！ お母さん、わたしが3回声かけたのに、これ見て…」

E「泣く うううううう、あーーーー、もう！うわーーーーん」

6. 司会の人が、素敵な解決方法だなどと思った人に、そのカードを渡す。

※2番の人がカードを引いて司会する。3～6を繰り返す

(4) アニメーターは、時間でディスカッションを打ち切る。

ワークシートを配る。

- A. 自分が今ある悩み(小さくても大きくても)を書いてもらう。
- B. 今日の授業の感想を書いてもらう。

(5) アニメーターは「10歳の質問箱」「続10歳の質問箱」を紹介する。